



株式会社パソナグループ 株主通信

2010年6月1日～2011年5月31日



東日本大震災の発生から、まもなく半年が経とうとしています。この度の震災で犠牲となられた方々、今なお不自由な生活を余儀なくされておられる方々に、心からのお悔やみとお見舞いを申し上げます。

また、当社グループにおきましては、現在全ての拠点で通常営業を行っており、被災地における雇用創出、ならびに被災者の方々への全国での就労機会の提供にグループをあげて取り組んでおります。

### 3.11後の被災地支援の取り組み

さて、3月11日の震災発生以来、私たちは、社員一人ひとりが個人として、また民間企業として自分たちにできることは何かを考え、行動してまいりました。

震災後、職を失くされた方々を支援するため「震災ワークレスキュー」を3月末に発足し、専門チームのメンバーが被災地域での就労支援活動を行っています。また、避難所や商工会などを訪問して、お仕事や事業継続のご相談窓口を開設しているほか、医療、看護、音楽活動で被災者の方々を勇気づけようと「復興支援隊」の活動を行っています。そして震災直後から、支援物資の運搬や炊き出しやボランティアバスの運行、国内外でのチャリティイベントや募金活動なども随時行っております。

また7月16、17日には、東北地方の6つのお祭りを仙台に集約した「東北六魂祭(ろっこんさい)」に協力企業として参画し、チャリティフリーマーケットを開催したほか、避難所で暮らす方々を会場までご招待する「東北六魂祭スマイルバスツアー」を企画しました。

### 人材育成と地方活性の新たな取り組み

今年4月から、当社グループは兵庫県・淡路島において、県からの受託によるふるさと雇用再生事業「ここから村」をスタートしました。これは、音楽や演劇など、芸術を志す若者が自らの才能・能力に磨きをかけ、様々な専門知識を身につけて地域の活性化に取り組んでもらう、新たな人材育成の仕組みです。

この「ここから村」では、被災地からも若者を受け入れており、芸術活動だけではなくビジネスやベンチャー、農業、観光など様々な専門知識を身につけ、被災地の産業復興の担い手となる「東北復興プロデューサー」の育成を目指しています。淡路島で地域活性化を学び、将来、被災地で大いに活躍してくれることを心から願っています。

そのほかにも当社グループでは、被災者の方々を積極的に受け入れる就労支援事業を大阪府や神戸市、札幌市など全国の地方自治体と共に行っています。



### 今期のパナソニックグループの取り組み

東日本大震災により、電力不足という新たな課題が生まれ、企業はこれまで以上に海外シフトを加速していくとともに、災害などに備えて拠点の分散を進めていくことが予想されます。

そこで当社グループでは、以下を2012年5月期の重点戦略に掲げ、ソリューションを拡充してまいります。

第一に、グローバルソーシング事業。海外関連事業をこれまで以上に積極的に展開し、新規拠点の開設を進めるとともに、サービスを拡充していきます。また社内においても「グローバル人材育成研修」をスタートさせ、企業の様々なニーズに応えられる真のグローバル人材を育成してまいります。

第二に、インソーシング事業の強化・拡大です。これまでの実績を活かしながら、更なる事業拡大を目指すとともに、営業・販売業務や特許関連業務は専門会社化することでノウハウの集約や蓄積を図ってまいります。

第三に、BPO(=ビジネス・プロセス・アウトソーシング)事業の拡大です。震災後のリスク分散ニーズに応えるために、大阪にBPOセンターを開設し、関西エリアの事業拡大を図ってまいります。

パナソニックグループは、創業以来「社会の問題点を解決する」という不変の企業理念を掲げ、“年齢や性別に関わらず、誰もが自由に好きな仕事を選択することができ、それぞれのライフスタイルに合わせた働き方ができる社会”の実現を目指して、事業を展開してまいりました。

当社グループの仕事は、「人を活かすこと」。つまり、人々の心豊かな生活の創造を支援する「ライフプロデュース」です。この役割を果たすため、新たな社会インフラを構築し、これからも社会から必要とされる会社を目指して、事業活動を行ってまいります。皆さまの変わらぬご支援を心よりお願い申し上げます。

2011年8月

代表取締役 グループ代表

南部靖之

## 「ソーシャルアクティビスト」として震災復興に取り組む

未曾有の被害をもたらした東日本大震災。パナグループでは一人ひとりが「ソーシャルアクティビスト」として地域再生と雇用創出を目指し、様々な活動に取り組んでいます。

### ◎ 一人でも多くの方に就労機会を提供するため、雇用創出に注力

#### ☑ 「震災ワークレスキュー」を発足

被災された方の就労を支援する「震災ワークレスキュー」を発足し、求人情報の案内だけでなく、民間企業や自治体と連携して住居に関する情報も提供。健康やメンタルヘルスなど生活全般のご相談にも応じています。



仙台のイベントで仕事に関するカウンセリングや事業者向けの個別相談会を実施しました



お仕事サポートコール(フリーダイヤル)  
**0120-837-858**  
受付 平日9:00-19:00

詳細は[www.pasona.co.jp/workrescue](http://www.pasona.co.jp/workrescue)

#### ☑ 自治体の被災者支援事業を全国で受託

大阪府の「震災被災者」OBフェニックス事業」は、大阪府が被災された方70名を雇用し、被災地や移住先の産業ニーズに応じた人材を育成する就労支援事業です。

パナはカウンセリングや職場訪問などで就業をサポートし、府営住宅等の無償提供や、被災された方々が交流するサロンや24時間対応の相談窓口もご用意しています。

そのほか、岩手県、茨城県、兵庫県、札幌市、神戸市など多くの自治体と連携して就労を支援しています。

#### ☑ 若年層の就労を支援

新卒者に教育研修と就労機会を提供する「フレッシュキャリア社員制度」、パナフォスターの「保育士雇用支援」やパナエンジニアリングの「震災被災者エンジニア留学制度」など、パナグループの総力をあげて就労を支援しています。



仙台では「フレッシュキャリア入社式」が行われ、被災地での若年層の雇用創出をサポートしています

#### ☑ 「ここから村」で被災された方を受け入れ

兵庫県淡路島に開設した「ここから村」では被災地から20名の受け入れを開始しました。芸術と農業、ビジネスを融合させ、地域産業と結びつけることで、地域活性化とアーティストとしての自立を目指しています。



参加者はパナの契約社員となり、アート、ダンス、農業などの多様な研修を受けています

### 7/16~17 ベネフィット・ワンが「東北六魂祭」を企画



東北地方が再び活気づききっかけになることを願って、東北6県の祭りを一堂に仙台に集めて開催した「東北六魂祭」の企画に参画。被災地域の自治体と協力し、東北地方の復興に大きく貢献しました。36万人を超える人出となったこの夏一番の祭典に、ボランティアも多数参加し、パナグループ全社をあげて盛り上げました。



社員・スタッフがダンボール1,000個、約14,000点の商品を持ち寄り、フリーマーケットを開催。売上金は全て義援金として被災地へ届けました



漫画で被災地を勇気づけようと、ブースにたくさんの漫画を掲示。チャリティ似顔絵コーナーは大人気で、多くの親子連れでにぎわいました



◎ 一日も早い復興を目指して、国内外のパソナファミリーが支援活動を行っています

パソナグループは地域の皆さんと共に復興に向けて力強く動き出しており、国内をはじめ世界中のパソナファミリーも様々な支援を行っています。



**被災地を訪問してボランティア活動**

「ボランティア休職制度」を活用して社員が団体で宮城県東松島市などを訪問し、家屋の片付けや泥掃除などのボランティア活動を行いました



**被災地の社員も炊き出しに協力**

仙台や福島など被災拠点の社員も避難所での炊き出しや支援物資の送付などを行い、相馬市長から感謝状もいただきました



**ハートバックを被災拠点に送付**

被災地の社員、派遣スタッフに、パソナファミリーの直筆メッセージを入れたうちわと共に、食料、飲料、医薬品等をまとめた「ハートバック」を届けました



**海外グループ会社もチャリティ活動**

香港ではチャリティイベントの運営ボランティアに参加、それぞれの拠点でも街頭募金活動、チャリティバザーを開催し多くの義援金を寄付しました



**パソナ・シャドーキャビネットで復興支援を議論**

「復興支援臨時国会」を開催し、復興支援、省電力、リスクマネジメントなどについて議論。復興を長期的に考えて活動していく「復興支援省」も新設しました



**ストラディヴァリウス「鎮魂コンサート」**

「ストラディヴァリウス・サミット・コンサート」で来日したベリン・フィルメンバーの希望でチャリティコンサートを開催し、募金と収益金を被災地に寄付しました

「ソーシャルアクティビスト」としての主な活動

- ❖ 「災害対策本部」を設置し、ホームページで告知
- ❖ 救援物資を福島市・郡山市・仙台市へ輸送
- ❖ ベネフィット・ワン「ベネステ緊急災害募金」開始
- ❖ 淡路島「ここから村」で被災者の受け入れ発表
- ❖ 「サンキューファンド」で募金、物資募集
- ❖ 「震災ワークレスキュー」発足
- ❖ パソナNA、パソナMICで募金活動
- ❖ 新入社員有志が物資募集・ボランティア活動
- ❖ 「ボランティア休職制度」開始
- ❖ パソナ台湾とMGRがチャリティバザー開催
- ❖ パソナグループ本部で著名漫画家の被災者応援メッセージを込めた「平成壁新聞・漫報」を展示し義援金を寄付
- ❖ パソナ上海で募金活動
- ❖ パソナアジア チャリティコンサート運営ボランティア
- ❖ 「東北支援緊急フォロー隊」を社内公募
- ❖ 仙台で若年層未就職者に南部代表が講話
- ❖ 南部代表が宮城県市町村の首長を訪問し、自治体と連携した被災者受け入れ事業構想を発表
- ❖ ミュージックメイトによるチャリティコンサート開催
- ❖ パソナフォスターが被災地の保育士雇用支援
- ❖ パソナキャリアが被災者に転職支度金を支給
- ❖ パソナソーシングが被災地介護支援事業を発足
- ❖ 各支店で被災観光地のおみやげを共同購買
- ❖ パソナ「復興支援隊」が避難所でコンサート
- ❖ パソナグループ本部で「チャリティローズフェスタ」開催
- ❖ 「復興支援バスツアー」を実施し、東松島市でボランティア活動のほか小学校の仮設校庭にヒマワリを定植
- ❖ パソナフォスター 企業の節電に伴う臨時託児サービスを提供
- ❖ パソナ北海道、東北のメンバーが千羽鶴を避難所に贈る
- ❖ 風評被害農作物の共同購入を開始
- ❖ 東松島市の教育委員会からヒマワリの苗定植のお礼状
- ❖ パソナグループのゴスペルクラブのチャリティコンサートに被災者招待
- ❖ ベネフィット・ワンが東北6大祭りが集結した復興イベント「東北六魂祭」に参画
- ❖ ベネフィット・ワンが「東北六魂祭スマイルバスツアー」実施
- ❖ 第3回復興支援バスツアー「東北六魂祭」ボランティアに参加

etc.

パソナグループは今後も被災地域の復興と雇用創出のための取り組みを続けていきます。

※パソナ・シャドーキャビネットとは  
企業の立場から社会の問題点の解決策を提案する組織として、雇用を切り口に様々なテーマについて専門家と共に研究、議論しています。  
詳しくは [www.pasonagroup.co.jp/shadowcabinet/](http://www.pasonagroup.co.jp/shadowcabinet/) をご覧ください。

## 2011年5月期 連結業績ハイライト

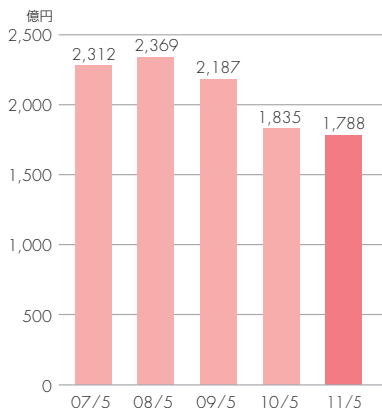
## インソーシングとグローバルソーシングが伸長 震災影響もあり売上高は減収となったものの、回復基調

## ◎ 売上高

# 1,788 億円

(前期比△2.6%)

インソーシング(委託・請負)が大きく伸長し、グローバルソーシング(海外人材サービス)も拡大したほか、国内のブレース&サーチ(人材紹介)も求人が増加しました。エキスパートサービス(人材派遣)は新規受注が増加したものの、厚生労働省による派遣職種の適正化推進が直接雇用につながったほか、東日本大震災の影響で需要が抑制されました。



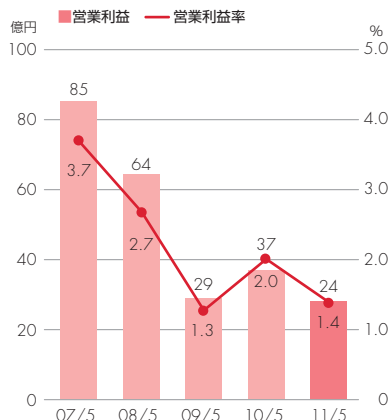
## ◎ 営業利益

# 24 億円

(前期比△33.5%)

アウトプレースメント(再就職支援)の減収と売上総利益率が低下した影響を、グローバルソーシングの拡大で一部吸収したものの、売上総利益は減少しました。

販管費は業務効率化やグループ会社の再編、オフィス統合などにより前期比△19億円(△5.9%)と抑制しましたが、営業利益は減益となりました。

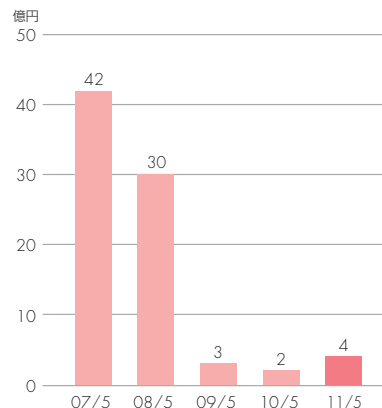


## ◎ 当期純利益

# 4 億円

(前期比+101.4%)

特別利益として投資有価証券売却益5億円を計上しましたが、会計基準変更に伴う資産除去債務影響額5億円と東日本大震災による派遣スタッフの休業補償費用等6千万円を特別損失として計上したため、税金等調整前当期純利益は25億円(前期比△34.9%)となりました。税効果会計の影響が前期より少なかったこともあり、当期純利益は増益となりました。



## セグメント別業績

### ◎ HRソリューション

#### ● エキスパートサービス、インソーシング他

売上高 **153,106**百万円 営業利益 **1,980**百万円

##### エキスパートサービス(人材派遣)

売上高 **130,735**百万円

新規受注が増加したものの、厚生労働省による派遣職種の適正化推進が直接雇用につながったほか、震災で企業の先行き不透明感が高まり需要が抑制された結果、長期稼働者数は横ばいで推移しました。職種別では、メディカル分野の育成型派遣の推進や、M&Aによる保険・金融分野の強化が奏功してテクニカル分野が伸長したほか、営業・販売職もエコポイントの影響による家電量販店での需要が増加しました。

##### インソーシング(委託・請負)

売上高 **16,365**百万円

受付、事務センターやコールセンターなどの受託が増加したほか、官公庁・地方自治体等の案件も順調に推移しました。

##### ブレース&サーチ(人材紹介)

売上高 **1,833**百万円

国内人材紹介マーケットは技術職や営業職の即戦力となる人材を中心に求人が増加し、マネジメントレベルの人材紹介も堅調に推移しました。

##### グローバルソーシング(海外人材サービス)

売上高 **2,031**百万円

中国、台湾、インドなどアジアで日本企業の海外シフトにより現地社員の需要が活発化し、人材紹介が好調に推移したほか、北米の人材紹介も堅調でした。昨年12月にパソナグローバルをパソナに統合して国内での営業を強化したこと

により、人材派遣や給与計算等の業務や海外人事における周辺分野の委託業務も増加しました。

当セグメントの営業利益は、インソーシングやグローバルソーシングが拡大したことから1,980百万円となりました。

#### ● アウトプレースメント(再就職支援)

売上高 **9,807**百万円 営業利益 **1,011**百万円

企業の海外移転に伴う再就職支援の需要等、着実に受注を獲得しシェアを拡大したものの、需要が大幅に拡大した前期と比較すると受注が減少し、前期に受け入れたサービス利用者の早期再就職決定を最優先した結果、原価が膨らみました。

#### ● アウトソーシング

売上高 **14,690**百万円 営業利益 **2,227**百万円

ベネフィット・ワンでは大企業・官公庁等の法人会員に対して提案営業を推進し、ワークライフ・バランスを実現する福利厚生サービスの拡販を進めたほか、報奨金などをポイント化して管理・運営するインセンティブ事業にも注力しました。

### ◎ ライフソリューション、パブリックソリューション、シェアード

売上高 **3,564**百万円 営業利益 **134**百万円

ライフソリューションの保育関連事業では保育士の派遣や児童保育事業、臨時託児施設などの受託が増加し、堅調に推移しました。

## 次期の重点戦略

当社グループは企業の使命として、被災地における雇用創出、被災者の方々への全国での雇用機会の提供に、今後もグループをあげて取り組んでいきます。

また次期は、震災による電力不足という課題を受けて、企業がさらに海外シフトを加速し、災害や電力不足に備えて補完体制を強化するため、データ等のバックアップ(二重化)を含めた拠点の分散を強めていくと予想されます。

こうした企業ニーズに対応するため、海外におけるサポートサービス、経営効率化に加えリスク分散という観点からインソーシング(委託・請負)やBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング=業務プロセスの受託)を強化するべく、以下を重点戦略とし、事業の拡大を図ります。

### ① グローバルソーシング、海外関連事業の積極展開

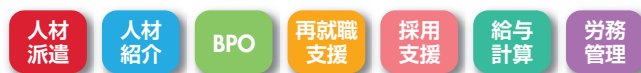
#### ● サービスエリアの拡大

現在の8地域29拠点から10地域37拠点へとサービスエリアの拡大を目指します。韓国、インドネシアに進出を予定しているほか、中国、インド、アメリカで事業展開している既存の海外子会社においても拠点開設を進めていきます。



### ● サービスメニューの拡充

各国の状況に合わせてサービスメニューを拡充し、総合人材サービスを世界で展開していきます。



### ● グローバル人材の育成

グローバル化が進むなかで企業の様々なニーズに対応するため、語学力はもとより「幅広い視野」と「創造革新力」を持つ真のグローバル人材の育成を目的に、社員を研修のために海外へ送り出しています。

### ② インソーシングの強化・拡大

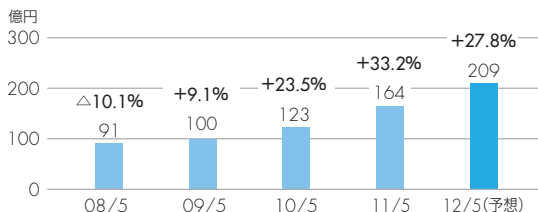
当期は、官公庁・自治体からの受託実績と案件管理の体制が評価され、さらに受注が増加したほか、教育・研修などのメニューを拡大し、一層の管理体制を構築するためにPMO(プロジェクト・マネジメント・オフィス)を設置したことも事業拡大に寄与しました。

次期は実績を活かして更なる事業拡大を目指すと共に、営業・販売業務や特許関連業務は専門会社化することでノウハウの集約を図り、事業拡大を目指します。

#### 専門会社にノウハウを集約し、成長を加速

- 営業・販売分野 → パナマーケティング
- 特許関連分野 → 関東・関西 雇用創出機構

#### インソーシング売上高推移



※数値はセグメント間取引消去前。  
2010年5月期までは旧セグメント基準のため、2011年5月期の増減率は参考値



## 2012年5月期 連結業績予想

### ③BPO事業の拡大

企業の経営効率化を背景にBPO市場は拡大を続けています。当期は松山と岐阜にBPOセンターを開設してコールセンター、Web開発業務を受託し、中国・大連では日本企業のテクニカルサポート業務を、ベトナムではソフトウェアの開発をそれぞれ受託しました。

次期は企業の機能分散を視野にBPOセンターを大阪に開設し、関西エリアの事業規模を拡大すると共に、海外においても、既存センターの拡充を図ります。企業ニーズに様々な角度から対応できるようトータルソリューションサービスを一層強化し、収益機会を確実に捉えていきます。

- 大阪にBPOセンター開設
- 中国(大連)、ベトナムなど海外BPOセンターの本格稼働
- 松山と岐阜に続き、国内地方都市でも開設予定
- 在宅ワークの推進

### 中期経営ビジョン

将来のパナグループの新たな事業の柱を創りだすため、2015年度に向けたキーワードとして「MESIA+G」を掲げ、これらを掛け合わせることで、さらに大きな産業の発展や地域活性化につなげていきます。



一例として**M:メディカル分野**では、メディカルセクレタリーの派遣などで営業を強化してきた病院に対して専門チームを新設し、院内におけるインソーシングメニューを提案してまいります。また、市場拡大が期待される介護分野では、当期、4ヶ所でデイサービスセンターをオープンさせました。次期もさらに5センターを新設する予定です。

**A:農業分野**では、数々の自治体から就農支援事業を受託し、リーディングカンパニーとしての地位を確立しました。次期はさらに、独立就農する人に向けての流通・販売、コンサルティングなどのサポートを行うため「パナナグリパートナーズ(仮)」を設立し、合わせて農業生産法人も立ち上げます。

その他の分野でも様々な取り組みを進め、新事業の育成を目指しています。

東日本大震災により、当面は景気の下振れ圧力がかかる状況が続くと予想されますが、復興需要が下支えとなり、景況感は下期から回復すると見込んでいます。

次期は、インソーシング、ブレース&サーチの伸長などにより、売上高は1,830億円(当期比+2.3%)を見込んでいます。販管費は、効率化を図りコストを削減しつつ、戦略的投資も行うことから当期よりやや増加する見込みです。また、アウトソーシングの大幅な季節影響に加え、下期に向けて緩やかな回復を見込んでいるため、利益については下期偏重となりますが、営業利益は28.5億円(当期比+17.1%)、経常利益は29億円(当期比+12.8%)、当期純利益は6.5億円(当期比+57.5%)と増収増益を見込んでいます。

### 連結通期業績

	2011年5月期	2012年5月期(予想)	増減率
売上高	1,788億円	1,830億円	+2.3%
営業利益	24.3億円	28.5億円	+17.1%
経常利益	25.7億円	29.0億円	+12.8%
当期純利益	4.1億円	6.5億円	+57.5%

### 配当について

当期は、業績や株主還元を総合的に勘案し、1株当たり1,000円の期末配当を実施します。

次期は、上期は四半期純損失を予想していることから、中間配当は見送りとさせていただきますが、期末配当は1,200円を予定しています。

	中間	期末	年間
2011年5月期	—	1,000円	1,000円
2012年5月期(予想)	—	1,200円	1,200円

連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科目	前期末 2010年5月31日現在	当期末 2011年5月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	34,986	44,368
固定資産	17,282	16,195
有形固定資産	6,972	6,634
無形固定資産	3,850	3,320
投資その他の資産	6,460	6,240
<b>資産合計</b>	<b>52,269</b>	<b>60,564</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	21,426	25,329
固定負債	5,863	9,592
<b>負債合計</b>	<b>27,289</b>	<b>34,922</b>
<b>純資産の部</b>		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	6,054	6,054
利益剰余金	13,200	13,425
自己株式	△3,493	△3,493
株主資本合計	20,761	20,986
その他の包括利益累計額合計	△72	17
少数株主持分	4,290	4,637
<b>純資産合計</b>	<b>24,979</b>	<b>25,642</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>52,269</b>	<b>60,564</b>

**資産**

主な増減は、現金及び預金の増加9,998百万円、有形固定資産の減少337百万円、無形固定資産の減少530百万円等です。

**負債**

主な増減は、長期借入金の増加3,119百万円、派遣スタッフの給与支払を月2回から月1回に変更したことによる未払費用の増加2,824百万円、短期借入金の増加1,418百万円等です。

**純資産**

主な増加の要因は、当期純利益412百万円等です。  
自己資本比率は、前期末に比べて4.9ポイント減少し、34.7%となりました。

連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	前期 (自2009年6月 1日 至2010年5月31日)	当期 (自2010年6月 1日 至2011年5月31日)
売上高	183,515	178,806
売上原価	146,784	145,247
売上総利益	36,731	33,558
販売費及び一般管理費	33,070	31,125
営業利益	3,660	2,432
営業外収益	581	437
営業外費用	197	298
経常利益	4,044	2,571
特別利益	198	523
特別損失	409	598
税金等調整前当期純利益	3,833	2,496
法人税、住民税及び事業税	1,533	1,533
法人税等調整額	1,171	△148
少数株主損益調整前当期純利益	—	1,111
少数株主利益	923	698
当期純利益	204	412

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	前期 (自2009年6月 1日 至2010年5月31日)	当期 (自2010年6月 1日 至2011年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,875	6,419
投資活動によるキャッシュ・フロー	△387	166
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,275	3,695
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	△42
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,796	10,239
現金及び現金同等物の期首残高	14,120	12,324
現金及び現金同等物の期末残高	12,324	22,563

**営業キャッシュ・フロー**

主な増減は、税金等調整前当期純利益2,496百万円、営業債務の増加額2,963百万円、減価償却費2,161百万円、法人税等の支払額1,030百万円等です。

**投資キャッシュ・フロー**

主な増減は、投資有価証券の売却1,395百万円、敷金保証金の回収349百万円、投資有価証券の取得779百万円、無形固定資産の取得612百万円等です。

**財務キャッシュ・フロー**

主な増減は、長期借入による収入5,958百万円、長期借入金の返済1,374百万円、配当金の支払464百万円、ファイナンス・リース債務の返済348百万円等です。

### 株式の状況

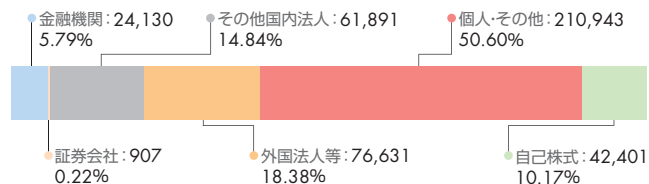
会社が発行する株式の総数: 1,500,000株

発行済株式総数: 416,903株

株主数: 8,528名

### 所有者別株式数

合計: 416,903株



### 株主(上位10名)

南部靖之	147,632株 (35.41%)
株式会社パソナグループ(自己株式)	42,401株 (10.17%)
株式会社南部エンタープライズ	35,688株 (8.56%)
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー505223	32,023株 (7.68%)
株式会社サンリオ	12,000株 (2.88%)
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー (常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行 決済営業部)	11,466株 (2.75%)
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー (常任代理人 香港上海銀行 東京支店)	7,391株 (1.77%)
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー505103	6,953株 (1.67%)
メロンバンク エヌエー アズ エージェント フォー イッツ クライアント メロン オムニバス ユーエス ペンション	6,944株 (1.67%)
パソナグループ従業員持株会	5,571株 (1.34%)

※自己株式42,401株(発行済株式数に対する所有割合10.17%)は、会社法第308条第2項の規定により議決権を有していません。

### 取締役および監査役

代表取締役グループ代表

取締役会長

取締役専務執行役員

取締役専務執行役員

取締役専務執行役員

取締役常務執行役員

取締役

取締役

取締役

取締役

社外取締役

社外取締役

常勤監査役

社外監査役

社外監査役

社外監査役

南部 靖之

竹中 平蔵

深澤 旬子

山本 絹子

若本 博隆

仲瀬 裕子

佐藤 司

森本 宏一

鈴木 雅子

渡辺 尚

平澤 創<sup>\*1,3</sup>

衛藤 博啓<sup>\*1,3</sup>

肥後 一雄

後藤 健<sup>\*2,3</sup>

船橋 晴雄<sup>\*2,3</sup>

松浦 晃一郎<sup>\*2,3</sup>

\*1 取締役の平澤創氏、衛藤博啓氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

\*2 監査役の後藤健氏、船橋晴雄氏、松浦晃一郎氏は会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

\*3 東京証券取引所に対し、平澤創氏、衛藤博啓氏、後藤健氏、船橋晴雄氏、松浦晃一郎氏を独立役員とする独立役員届出書を提出しています。

### 会社概要

社名 株式会社パソナグループ(Pasona Group Inc.)

本社 〒100-6514  
東京都千代田区丸の内1-5-1  
新丸の内ビルディング

パソナグループ本部 〒100-8228  
東京都千代田区大手町2-6-4

創立 1976年 2月16日

設立 2007年 12月 3日

資本金 50億円

事業内容 グループ経営戦略の策定と業務遂行支援、経営管理と経営資源の最適配分の実施、雇用創造に係わる新規事業開発等

## 株主メモ

証券コード(2168)

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日
剰余金の配当基準日	5月31日(中間配当を行う場合は11月30日)
定時株主総会	毎年8月
株式売買の単位	1株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告方法	電子公告 <a href="http://www.pasonagroup.co.jp/ir">www.pasonagroup.co.jp/ir</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-288-324(フリーダイヤル)

2009年1月5日に実施された株券の電子化に伴い、株式会社証券保管振替機構(ほふり)へ期日までに預託されなかった当社株券について、株主の権利を確保するため、当社が株主名簿上の株主名義で「特別口座」を開設しております。特別口座にて当社株式が管理されている方は、所定のお手続きが必要となりますので、上記事務取扱場所へご連絡をお願いいたします。

IRメール  
登録の  
ご案内

パナグループIRサイトでは、IR情報をタイムリーにお知らせするメール配信の登録を受け付けています。下記アドレスにアクセスの上、是非ご登録ください。  
[www.pasonagroup.co.jp/ir](http://www.pasonagroup.co.jp/ir)

## 株式会社パナグループ

Tel. 03-6734-0200(代)  
[www.pasonagroup.co.jp](http://www.pasonagroup.co.jp)



この株主通信は「FSC™認証紙」と、揮発性有機溶剤を含まない「VOCゼロ型インキ」を使用しています。

## 表紙の絵:「ペンギン」 友永 太(知的障害)



パナグループのアーティスト社員として、絵を描くことを仕事にしています。伸びやかな線と大胆な構図が特徴です。現在、音楽家シリーズに取り組んでいます。

パナグループは「才能に障害はない」のコンセプトのもと、1992年に「アート村」をスタートして以来、アートを通じて障害者の社会参加を支援しています。